

キンメダイ目^{もく} BERYCIFORMES

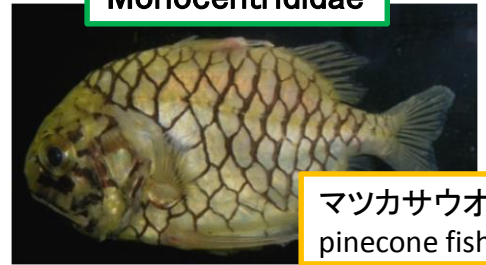
マツカサウオ科 Monocentrididae ・ イットウダイ科 Holocentridae

キンメダイ目の仲間は、外見はスズキ目の魚によく似ています。しかし、^{うきぶくろ}消化管と^{きどう}気道でつながっているなどの原始的な性質をもつことや(スズキ目では成長するにつれて気道が無くなっていきます)、ヒレにある^{かた}硬い^{きよくじょう}トゲ(棘条)の数が異なることなどから、スズキ目より古い時代に栄えたグループと考えられています。

沿岸に生息している仲間では、^{かた}硬く発達したうろこで体がおおわれています。また、ヒレにある硬い^{きよくじょう}トゲ(棘条)がよく発達していることが知られています。

Fishes of the order Beryciformes resemble the typical percoid fishes in general appearance, but are thought to have arisen and expanded earlier than the percoid fishes, by having a great number of soft pelvic rays and some primitive characters of the cranium and air bladder. Body is generally high and is covered with strong ctenoid scales in many species. In coastal species, fin spines are well developed.

マツカサウオ科
Monocentridae



イットウダイ科
Holocentridae



うきぶくろの違い
Difference of air bladder

